

トランザックス

## POファイナンスで初案件

### 商工中金が電子債権現金化

Tranzax（東京・港）は売掛債権担保融資（ABL）の仕組みを活用し、電子記録債権を

担保に仕事を受注した時点で融資が受けられる「POファイナンス」と呼ぶ仕組みの第1号案件

を決めた。

鳥取、島根両県を対処に観光産業の振興を手がける山陰インバンド機構（鳥取県米子市）の仕事を請け負うインバウンド向け観光関連事業を手がけるHuber（神奈川県鎌倉市）の資金調達に使う。21日発表した。

POファイナンスとは電子記録債権の仕組みを使い、売掛債権が確定する前の受注時点で担保融資を実現する仕組み。電子化された受注債権を金融機関に買い取ってもらうことで仕掛り前段階の資金調達が可能になる。この案件には商工組合中央金庫（商工中金）が融資金融機関として参画。信用保証協会がABL保証で信用補完する。